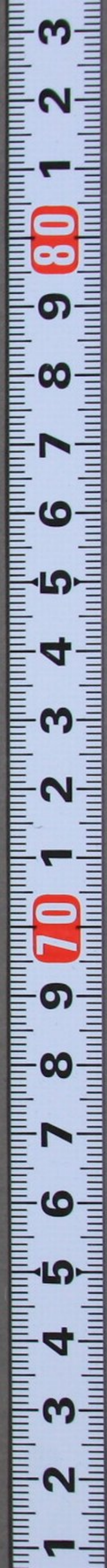




84  
野  
教  
勾  
集  
復

中村俊定文庫  
文庫 18  
666  
2





新類題發句集其之部

四月

卯月

更衣

何んぞと卯月もあやむの如  
葉は花の書は心あはれ月夜  
衣もかき川にさる人さる  
紅の袖もくさの影もさる衣  
隣もさるまはれもさる人  
衣もさるまはれもさる衣  
振舞はれもさるまはれもさる衣



上法 故貝

太漢

春甫

京 百池

丹后 鼎二

馬佛

伴努 左丈

裕

尾身也同 一竹  
方壺  
沂山  
雪下  
驛道  
喃山  
李雨  
素柳  
梅珠  
佳花  
佳一

夏一

綿拔

青蓋

さるるの暇をのめ 裕  
裕はては 裕はては 裕はては  
まのふぬ 裕はては 裕はては  
順和のまのふぬ 裕はては 裕はては  
ゆの順和 裕はては 裕はては  
了る 裕はては 裕はては  
裕はては 裕はては 裕はては  
風流色 裕はては 裕はては  
まの順和 裕はては 裕はては

江戸 乙行  
佳花 佳一  
一路  
塘里  
素心  
雪下  
驚倉  
尾 琴之  
近江 醉茶  
佳花 瓦二

葵祭

日向の事なりて 晴 土曜 祭  
あまのついでに物古のよき青原  
猫のついでに物古のよき青原  
人ありたるとも静かに青原  
着るものよき青原のよき  
着るものよき青原のよき  
葵のついでに物古のよき青原  
卯のついでに物古のよき青原  
古縁のついでに物古のよき青原  
古縁のついでに物古のよき青原

下  
喜一  
44

日吉祭

筑摩祭

千因子

灌佛會

瑞の紋神事ありてとて  
下 葵のついでに物古のよき青原  
ついでに物古のよき青原  
ついでに物古のよき青原  
ついでに物古のよき青原  
ついでに物古のよき青原  
ついでに物古のよき青原  
ついでに物古のよき青原  
ついでに物古のよき青原  
ついでに物古のよき青原  
ついでに物古のよき青原

陸  
馬  
吾  
騾  
騾  
騾  
騾  
騾  
騾  
騾

佛生會

清佛也坐之也持之也持之也  
清仙也坐之也持之也持之也  
灌佛也侍之也侍之也侍之也  
丈六寸也坐之也坐之也坐之也  
梅極の二重も古也也也也也  
の二重も古也也也也也也也  
おしるも古也也也也也也也  
清也也也也也也也也也也也  
又も佛の持也也也也也也也  
の二重も古也也也也也也也

三打  
坐  
呂情  
布亦  
上  
素輪  
後川  
丹波  
美璞  
妻光  
尼  
古友

佛者湯

花生堂

夏春

半躑躅

かゝる世も佛も行ふもあつた  
しやうも半の持もあつた  
坊の持もあつた也也也也  
世の中も半の持もあつた  
月も半の持もあつた也也也也  
一も半の持もあつた也也也也  
夏も半の持もあつた也也也也  
花も半の持もあつた也也也也  
はも半の持もあつた也也也也

在  
野鳥  
陸  
平林  
葦歌  
吳琴  
兼人  
下谷  
花因  
魚階  
上  
俊次  
先  
不老

夏籠

夏花括

夏断

海部へ程記すや夏断  
 夏断とて何れもどか  
 傾城も此の夏の事とす  
 清き水も此の夏の事  
 木かげも此の夏の事  
 夕影も此の夏の事  
 月影も此の夏の事  
 雲影も此の夏の事

雲山  
 外山  
 杉川  
 士川  
 桂門  
 雨橋  
 桐候  
 松清  
 古巢  
 曇天

夏書

久數

新茶

古茶

風炉茶

茶珠散りて人の心  
 通るもやうな心  
 常時よく茶事をする  
 まこと古箱の茶事  
 古茶の味も  
 古茶の味も

貝朱  
 江重  
 紅野  
 桑乙  
 白千  
 一船  
 沂凡  
 淳月  
 木哉  
 夏宮

黄酒

海葦子

履夜

又さういふ白くは酒きつる那  
風来る舟の所も風来る  
ふの酒は日和酒なる  
こゝろも夕乃月と  
みよきも月と酒と  
履夜も月と酒と  
さういふ舟の隅も  
此の青くは白く  
此の青くは白く  
さの夜は第一也

楚良  
不友  
之尺  
妻喜  
如泉  
一貫  
柎也  
曾妹  
文里

五五

青嵐

此夜も清くは白く  
履夜も極くは白く  
こゝろも夕乃月と  
みよきも月と酒と  
履夜も月と酒と  
さういふ舟の隅も  
此の青くは白く  
此の青くは白く  
さの夜は第一也

之兮  
五柳  
芥室  
枝法  
豊人  
雄山  
斗吟  
野々  
杏水  
梅珠

麦秋

麦秋のや海の中より向ふ岸  
麦秋のや海の中より向ふ岸  
麦秋のや海の中より向ふ岸  
麦秋のや海の中より向ふ岸  
麦秋のや海の中より向ふ岸  
麦秋のや海の中より向ふ岸  
麦秋のや海の中より向ふ岸  
麦秋のや海の中より向ふ岸  
麦秋のや海の中より向ふ岸  
麦秋のや海の中より向ふ岸

名人  
志得  
如泊  
素兄  
平行  
厄當  
梅東  
波濤  
晚翠  
枝舟

夏六

麦刈

麦刈のや海の中より向ふ岸  
麦刈のや海の中より向ふ岸  
麦刈のや海の中より向ふ岸  
麦刈のや海の中より向ふ岸  
麦刈のや海の中より向ふ岸  
麦刈のや海の中より向ふ岸  
麦刈のや海の中より向ふ岸  
麦刈のや海の中より向ふ岸  
麦刈のや海の中より向ふ岸  
麦刈のや海の中より向ふ岸

青山  
習之  
洞雨  
李山  
菊雅  
蘭戸  
輕舟  
風如  
馬傳  
茶木



卯花

牡丹の如く花の葉の本は白く  
卯の花は花の葉の本は白く  
卯の花は花の葉の本は白く  
卯の花は花の葉の本は白く  
卯の花は花の葉の本は白く  
卯の花は花の葉の本は白く  
卯の花は花の葉の本は白く  
卯の花は花の葉の本は白く  
卯の花は花の葉の本は白く  
卯の花は花の葉の本は白く

色江  
孤声  
杜音  
桃睡  
古竹  
始百  
三三  
山笑  
重厚  
杏清

夏七

卯花  
卯浪

牡丹

卯花の如く花の葉の本は白く  
卯浪の如く花の葉の本は白く  
牡丹の如く花の葉の本は白く  
牡丹の如く花の葉の本は白く  
牡丹の如く花の葉の本は白く  
牡丹の如く花の葉の本は白く  
牡丹の如く花の葉の本は白く  
牡丹の如く花の葉の本は白く  
牡丹の如く花の葉の本は白く  
牡丹の如く花の葉の本は白く

枝白  
路風  
洗籠  
凉瓜  
充之  
里左  
雷夫  
如蘭  
五來  
流泉

芍藥

深きも十日雨もあつた  
一輪の塵を落しはるる  
芍薬もさき牡丹は  
芍薬もさき牡丹は  
芍薬もさき牡丹は  
芍薬もさき牡丹は  
芍薬もさき牡丹は  
芍薬もさき牡丹は  
芍薬もさき牡丹は  
芍薬もさき牡丹は

深愛

古意

之祿

巨鳩

深孝

末足

支百

吏全

李冠

南浦

薔薇花

今朝の薔薇も  
今朝の薔薇も  
今朝の薔薇も  
今朝の薔薇も  
今朝の薔薇も  
今朝の薔薇も  
今朝の薔薇も  
今朝の薔薇も  
今朝の薔薇も  
今朝の薔薇も

夏八

聖薬花

湯平の湯平の湯平  
湯平の湯平の湯平  
湯平の湯平の湯平  
湯平の湯平の湯平  
湯平の湯平の湯平  
湯平の湯平の湯平  
湯平の湯平の湯平  
湯平の湯平の湯平  
湯平の湯平の湯平  
湯平の湯平の湯平

土佐 度雄

信子 小向古

信子 香黄

信子 江酒

信子 龍門

知子 恭漢

知子 青馬

知子 晴意

知子 珠碑

知子 其思

蜀葵

蜀葵

Handwritten cursive text for the '蜀葵' section, consisting of approximately 10 vertical columns of characters.

蜀山 蒲尺 瓦全 子桓 文推 烏奴 宣胡 雪貢 如雷 富浪

夏九

茨花

鳳車花

美人草

岩藤

胡蝶

鳶尾

Handwritten cursive text for the left page, consisting of approximately 10 vertical columns of characters.

翠兒 龜選 念夕 杏序 風送 東遊 東溟 筑峯 紫雲 田植

忍冬花	牡丹	躑躅草	茶梅	玉卷芭蕉	玉卷草	蓮浮葉	芭蕉	落
十月のつばき梅もさき	神楽のつばき梅もさき	牡丹のつばき梅もさき	茶梅のつばき梅もさき	玉卷芭蕉のつばき梅もさき	玉卷草のつばき梅もさき	蓮浮葉のつばき梅もさき	芭蕉のつばき梅もさき	落のつばき梅もさき
出羽	民古	徳島	文星	梅斜	桑路	沙月	木朶	白常

蓼	青刺	芋植	青山椒	柚花	枳殼花	白丁也	鷹爪
十月のつばき梅もさき	神楽のつばき梅もさき	牡丹のつばき梅もさき	茶梅のつばき梅もさき	玉卷芭蕉のつばき梅もさき	玉卷草のつばき梅もさき	蓮浮葉のつばき梅もさき	芭蕉のつばき梅もさき
陸奥	投雲	渡口	桃五	南善	許國	魚儲	兼那

梭桐花

繡鍊花

岩梨

蕞椿

桐花

餘花

Handwritten cursive text for the right page, corresponding to the plant names above.

桃斗

一扇

麻字

師中

啞水

西李

起東

柯喬

孤舟

好茗

夏士

夏木立

木下圖

Handwritten cursive text for the left page, corresponding to the plant names above.

一好

聽水

成美

里柱

蝶夢

大意

青容

河上

立乞

大志

嫩葉

梅枝の青さのゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も

如風  
素涼  
直之  
梅森  
幾董  
菜二  
蘭之  
出射

五十二

嫩葉花

梅枝の青さのゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も  
ささぎの葉のゆるぎなき木も

梅堂  
月橋  
雀文  
玉介  
雖愛  
其里  
文里  
玉圃  
玉川  
冬射

病葉

梅葉

梅 楸 葉柳

梅は冬に花を咲かす木なり  
 楸は春に花を咲かす木なり  
 葉柳は春に花を咲かす木なり  
 梅は冬に花を咲かす木なり  
 楸は春に花を咲かす木なり  
 葉柳は春に花を咲かす木なり

梅 楸 葉柳  
 宗瑞 祖明 里塘 東舟 楸友 央雨 末之 千彩 益吉

長十卷

夏竹 草茂 夏野

夏竹は夏に花を咲かす木なり  
 草茂は夏に花を咲かす木なり  
 夏野は夏に花を咲かす木なり  
 夏竹は夏に花を咲かす木なり  
 草茂は夏に花を咲かす木なり  
 夏野は夏に花を咲かす木なり

夏竹 草茂 夏野  
 五雲 杜由 雀茶 楸翁 白轆 青李 届後 有以 轻舟 聖城

夏山

李廣集

Handwritten cursive text in the right column of the right page, starting with '夏山' and continuing with several lines of characters.

尾張 浪島志  
常馬  
白雪  
花縣  
石橋  
白子  
采更  
梅東  
漸々  
越々

夏川

業繁集

Handwritten cursive text in the left column of the right page, starting with '夏川' and continuing with several lines of characters.

夏山

竹露集

荀

Handwritten cursive text in the right column of the left page, starting with '竹露集' and continuing with several lines of characters.

丹后 無諱  
此相  
志儀  
紀傳  
致理  
土佐 鳥牧  
信玉 梁嘉  
素柳  
睡善  
曉臺  
孤海



篠子  
杜鰐

4. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

耳十五

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

晋鸞  
 左夷  
 清風  
 木奴  
 五鹿  
 亞漢  
 青容  
 如卜  
 墨沃  
 墨嘉

老當

郭公のあつた國のま  
つれものゝちかむる  
初言のまのちかむる  
竹のまのちかむる  
本心は清き水に  
海は深き水に  
杜のまのちかむる  
百歳まで生き  
男のまのちかむる  
老はたゞのちかむる

山境  
蘇夢  
卷里  
滄波  
延長  
古竹  
得魚  
以白  
二條  
茂彦

當音

古帆  
階上  
朝宇  
集雲  
争茂  
集雲  
五井  
同夢  
重厚  
茂彦

布穀

古帆  
階上  
朝宇  
集雲  
争茂  
集雲  
五井  
同夢  
重厚  
茂彦

春一羽をてのりて  
 春の八幡もまた  
 秋意下分るも  
 人乃其の望も  
 のしめを  
 朝の  
 朝の  
 けあさる

紹修 桃之  
 石之 此錦  
 北岸 同喜  
 雀茶  
 石化  
 和重  
 妻鴉  
 如伯  
 李山  
 丈芝

行々子

かんてい  
 心は  
 布  
 け  
 春  
 春  
 春  
 春

此指  
 用徳 志功  
 尾伝 李後  
 上野 馬六  
 上野 杉雪  
 上野 琴枕  
 上野 倉波  
 上野 四祖  
 青橘

葭切

方目鳥

青鷺

鷹野入

編蝠

Handwritten cursive text in vertical columns, corresponding to the headers above.

白干

茄壳

東全

葉成

紫糸

陶々

松清

三考

折凡

依兮

夏十八

土鴨

蓋

Handwritten cursive text in vertical columns, corresponding to the headers above.

指月

真調

尾城

瓜涼

仙氣

中羽

如竹

素游

雅曼

待石

蚯蚓出  
初蟬

燕子

繩虎

飛蟻

子又

東芽  
三鼓  
出羽  
東船  
星井  
志清  
洗耳  
曉色  
杉文  
松尾  
宗漢

夏九

蟻蟻  
蚊

如洋  
香風  
杉鳥  
花蘭  
只一  
路因  
雨橋  
五有  
杜中

球童  
如洋  
香風  
杉鳥  
花蘭  
只一  
路因  
雨橋  
五有  
杜中

蚊柱

おんりやまゝもゝん風のあ  
ぢりもや目のあぢりも  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ

信使 梧菴  
ま 杜栗  
行亮  
丁水  
岳如  
雨橋  
雪秋  
厚凡  
子影  
蝶愛

蚊帳

紙帳

蚊遣火

おんりやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ  
ぢりもやまゝもゝん風のあ

ま 野川  
斗六  
根白  
五束  
徳和  
羅信  
琴波  
吉茂  
吉茂  
栄五

書片

蠶金 堅魚 蘇系取  
 抄屋の火や燭て入る言海  
 痛の勢は堪の糸は好遣り邪  
 名り火や女は心もくつ白  
 一里路の道はあかりあかり  
 不しよもよもよの儘も蘭入  
 いまもや仲のあもあもあ  
 物心不切事もあもあも  
 一木もあもあもあもあも  
 とも松もあもあもあもあも  
 約也あもあもあもあもあも

女 寸江  
花澤 香堯  
片河 桂蘭  
上野 我白  
上野 土祢  
如戸 幽管  
似柳 似柳  
伊豆 霞雨  
上野 里雪  
上野 其柙

夏世

鯉生節 鮓 廣袋角  
 生もあもあもあもあもあも  
 生もあもあもあもあもあも  
 龍もあもあもあもあもあも  
 榻もあもあもあもあもあも  
 分もあもあもあもあもあも  
 羨もあもあもあもあもあも

持津 回福  
山後 蘭戸  
遠江 買山  
長女 葛妻  
長女 長妻  
 産道

五月  
 皐月  
 完東

夏至

子也女也...

白兒

端午

...

素卿

葛蒲

...

佳等

葛蒲賣

...

古巢

葛蒲草

...

湖月

夏廿一

蓬茸

...

素釣

葛蒲湯

...

湖翠

葛蒲酒

...

求五



草蒲葺

水盤より清く結ぶるもの

梅明

草蒲葺

竹の子の心から

万世

薬玉

細く刃の結ぶるもの

陶々

粽

葉の平の結ぶるもの

賈友

懺

葉の平の結ぶるもの

夜打

懺

葉の平の結ぶるもの

五鹿

懺

葉の平の結ぶるもの

雪根

懺

葉の平の結ぶるもの

傘打

五世

陰浪

飾地

人の形を結ぶるもの

周泉

印地打

葉の平の結ぶるもの

素琴

加藤

葉の平の結ぶるもの

極里

薬日

葉の平の結ぶるもの

吹笛

葉の平の結ぶるもの

白兒

葉の平の結ぶるもの

太溪

葉の平の結ぶるもの

柳也



梅雨

葉のあはれをみれば  
雨のふりもあはれ  
梅の花もあはれ  
雨のふりもあはれ  
梅の花もあはれ  
雨のふりもあはれ  
梅の花もあはれ  
雨のふりもあはれ  
梅の花もあはれ  
雨のふりもあはれ  
梅の花もあはれ

未  
花葉  
石芽  
梅全  
五全  
梅愛  
他家  
棋源  
五雲  
東之  
法家

長廿五

五月雪

五月雪のふりもあはれ  
梅の花もあはれ  
雨のふりもあはれ  
梅の花もあはれ  
雨のふりもあはれ  
梅の花もあはれ  
雨のふりもあはれ  
梅の花もあはれ  
雨のふりもあはれ  
梅の花もあはれ  
雨のふりもあはれ  
梅の花もあはれ

二月  
粗河  
其中  
香風  
臨花  
阿雅  
喜清  
仙字  
素白  
我百

梅雨晴

五月雪

虎雨

夏月

みづのしずかにあそぶ  
橋のたもとに  
恐る柳の影  
倦る中を  
雲の影を  
隙の影を  
雨の影を  
来りぬ  
夕の影を  
静の影を

白柳  
文暁  
古能  
牧牛  
翁子  
嵐字  
竹風  
結石  
唱

夏廿六

花草滿

春の影を  
梅の影を  
花の影を  
草の影を  
影の影を  
影の影を  
影の影を  
影の影を  
影の影を  
影の影を

回茶  
菜二  
加角  
庵南  
秋水  
阿人  
素友  
當子  
一泉  
露道

石菖蒲

石菖蒲の葉は細く長く、根は石に生ずる。

生羽 李分  
赤 鶴翅

石菖蒲の根は石に生ずる。

探菱

石菖蒲の葉は細く長く、根は石に生ずる。

此花

石菖蒲の葉は細く長く、根は石に生ずる。

素兄

石菖蒲の葉は細く長く、根は石に生ずる。

寄信

石菖蒲の葉は細く長く、根は石に生ずる。

冬雪

萱草花

紅藍花

秋牡丹

萱草花の葉は細く長く、根は石に生ずる。

葉花

百合花

藤花

藤花

百合花の葉は細く長く、根は石に生ずる。

臥竜

藤花の葉は細く長く、根は石に生ずる。

玉燕

藤花の葉は細く長く、根は石に生ずる。

柗枝

藤花の葉は細く長く、根は石に生ずる。

東下

藤花の葉は細く長く、根は石に生ずる。

此流

藤花の葉は細く長く、根は石に生ずる。

道肥

藤花の葉は細く長く、根は石に生ずる。

幾重

藤花の葉は細く長く、根は石に生ずる。

傾傘

藻

芸

藻の白くもつた花も  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く

昔我  
古道  
芝友  
秋水  
二翁  
柘路  
坐来  
樂枕  
毛雨  
帆風

夏廿八

葦木

酸漿

夏草

杜鵑花

西花

うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く  
うららかに咲く

蒲団  
晋信  
二伯  
左翠  
左翠  
順古  
塙隱  
麥院  
榊木

松栢花

未央柳

盧橘

合歡心

雨の音もまた中より林の  
西風はかきつらぬまはる  
嬌り来りてはなれぬ  
さうさなる風もをしの  
ほもあひまを乃柳の  
るもよわ梅の身其  
梅もさかしの影も  
たもたもや社も  
月もさかきも  
日もさかきも

於雀  
月洲  
重厚  
宛足  
亞亨  
杏庵  
梅芽  
翠江  
馬頭

其五九

柳花

棟花

南玉公

望陽花

福の音も梅の音も  
返さうと童眼も  
あやうや望来花も  
雨も梅津も  
さうさなる  
あもさなる  
あもさなる  
望陽花も

大塚 却水  
望陽花  
巴文  
散庵  
由古  
梓仙  
白登  
里由  
一  
文

此乃...  
 下毛花  
 覆盆子  
 紫豆蔻  
 桑實  
 山梔子  
 意四  
 菊花  
 山角  
 杉葉  
 宇中  
 珠雨  
 遠射  
 小果

三三

生胡桃  
 青梅  
 于梅  
 黃梅  
 早桃  
 杏子  
 李子  
 如在  
 瓦山  
 片土  
 洞山  
 有隣  
 笠古  
 細雲  
 青窓  
 玉圍  
 晋信



揚梅

枇杷

早松茸

藜

莧

菘子

也子也子南草師の老う草

此のり入るるの枝枝のりてん

梅のり入るるの枝枝のりてん

杖のり入るるの枝枝のりてん

乙のり入るるの枝枝のりてん

花のり入るるの枝枝のりてん

古のり入るるの枝枝のりてん

子のり入るるの枝枝のりてん

乙のり入るるの枝枝のりてん

秋毛

雪菜

二竹

白兒

古倫

魯白

李山

花所

可也

蘭戸

夏三十一

瓜花

越瓜

胡瓜

着竹

朝のり入るるの枝枝のりてん

初のり入るるの枝枝のりてん

草のり入るるの枝枝のりてん

火のり入るるの枝枝のりてん

瓜のり入るるの枝枝のりてん

漬のり入るるの枝枝のりてん

菜のり入るるの枝枝のりてん

豆のり入るるの枝枝のりてん

餅のり入るるの枝枝のりてん

菘子

綾氏

素兄

録夢

冬馬

道紀

菊淨

五齋

富壽

松碎

冷水

今昔行

わが昔もや旅の心もなる  
和行もや旅の心もなる  
あまのこゝろの心もなる  
あまのこゝろの心もなる  
あまのこゝろの心もなる  
あまのこゝろの心もなる  
あまのこゝろの心もなる  
あまのこゝろの心もなる

杜中  
去支  
陶  
如  
盤  
五  
枝  
羽  
支

夏三二

竹は落

るもや七年の竹は落  
るもや七年の竹は落  
るもや七年の竹は落  
るもや七年の竹は落  
るもや七年の竹は落  
るもや七年の竹は落  
るもや七年の竹は落  
るもや七年の竹は落

散  
霞  
杜  
白  
白  
一  
如  
花

早苗田

早苗田  
早苗田  
早苗田  
早苗田  
早苗田  
早苗田  
早苗田  
早苗田

花

早苗

田植

けりきよ政とあはれ  
少くも戦ふとせし  
苗もわねのふと指のま  
柿もふと山崎のふと  
くもあつとつとつと  
あつとつとつとつと  
植もあつとつとつと  
一もあつとつとつと  
あつとつとつとつと  
あつとつとつとつと

泰山  
藤亭  
故栖  
折風  
蝶碎  
呂教  
紫山  
指嶋  
慈曼  
東恩

丁二子春

早女

いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと  
いづれもあつとつと

南彦  
北彦  
木北  
鳥秋  
千友  
可明  
杜音  
竹波  
楚呀  
青岑

青田

余のこころにありて清き水は  
其のこころにありて清き水は  
そのこころにありて清き水は  
そのこころにありて清き水は  
そのこころにありて清き水は  
そのこころにありて清き水は  
そのこころにありて清き水は  
そのこころにありて清き水は  
そのこころにありて清き水は  
そのこころにありて清き水は

出木 杜若  
谷水  
藤花  
朱姑  
紫雲  
蘭戸  
蝶夢  
巴川  
竹雨  
普匠  
三七四

田原

豆植 虫

菽のこころにありて清き水は  
今秋のこころにありて清き水は  
今秋のこころにありて清き水は  
今秋のこころにありて清き水は  
今秋のこころにありて清き水は  
今秋のこころにありて清き水は  
今秋のこころにありて清き水は  
今秋のこころにありて清き水は  
今秋のこころにありて清き水は  
今秋のこころにありて清き水は

糸 車粒  
東舟  
他法 太布  
鳳助  
土佐 桑二  
楚流  
右收  
度雄  
斗六

虫符

虫符

水虫の住る所をいふは  
田の虫は阿含の虫は  
羊虫は久持の虫は  
虫は虫の住る所をいふ  
羊虫は虫の住る所をいふ  
青虫は虫の住る所をいふ  
虫は虫の住る所をいふ  
虫は虫の住る所をいふ  
虫は虫の住る所をいふ  
虫は虫の住る所をいふ

三五  
東鏡  
虫  
耳香  
得性  
琴之  
如法  
風梨  
意法  
晴元  
吳公

蝸牛

虫の住る所をいふは  
虫の住る所をいふは  
虫の住る所をいふは  
虫の住る所をいふは  
虫の住る所をいふは  
虫の住る所をいふは  
虫の住る所をいふは  
虫の住る所をいふは  
虫の住る所をいふは  
虫の住る所をいふは

古  
十士  
支百  
梨青  
秋香  
陶々  
宰相  
至峰  
江山  
反雨

蚰蜒

蛭

虱

蟪蛄生

附蠃は乃て相手をせしむる  
つのはねて何れも今地牛  
角をてしはすまをり 姑蘇  
たをてしはすまをり 姑蘇  
蛭よひる苗をてしはすまをり  
蟪蛄生を相てしはすまをり  
まをてしはすまをり 姑蘇  
虱母や同し事をもてしはすまをり  
夕暮の虱をてしはすまをり  
かすまをりやせぬおろしきとて

吏令  
古俤  
希聖  
桃里  
吳南  
塘下  
鶴眠  
菜湯  
夕上

蛇脱衣

水難

鴉川

雨の日や池のほとり  
草科の葉もけやけのまは  
地をぬきあつたもてしはすまをり  
よけ人のまをりてしはすまをり  
半分のまをりてしはすまをり  
なをぬきあつたもてしはすまをり  
井堰のまをりてしはすまをり  
老あつたもてしはすまをり  
おあつたもてしはすまをり  
まをりてしはすまをり

竹風  
千立  
里石  
山  
四春  
白老  
笹翁  
木鶏  
笑漢  
蝶夢

二三六

翡翠  
羽脱鳥  
鶉菜  
水鳥菜

子...  
 舞...  
 羽...  
 十...  
 心...  
 川...  
 上...  
 聖...  
 知...  
 朝...

梧堂  
 如伯  
 盤舟  
 鳥名  
 桃李  
 貝朱  
 玉雪  
 標六  
 志江  
 香園

三三

龜啼  
築打  
唐子

入...  
 波...  
 其...  
 信...  
 主...  
 夕...  
 築...  
 秋...  
 唐...

如毛  
 扇床  
 枝法  
 玉屑  
 秋野  
 鶴兒  
 露候  
 鯉玉  
 凌冬

照射

火串

小鱈

干鰓

是も... 射... 火... 小... 干...

凡十 菊隠 軒秋 山素知 公轆 吉白 園更 立駒 路人 坐嘉

長三人

曝布

夏衣

産羽織

帷子

曝布... 夏衣... 産羽織... 帷子...

坐嘉 路人 立駒 園更 吉白 公轆 山素知 軒秋 菊隠 凡十



辻花

喜多川の辻花は白くも  
清くも白くも清くも

作古 間山  
作古 糸吟

六月

水簫月

この月も食の道は白くも  
みよの道も白くも清くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも

作古 和泊  
作古 古謙  
安藝 芳舟  
但馬 川西  
但馬 西尾  
但馬 廻心

夏三九

氷賣

この月も食の道は白くも  
みよの道も白くも清くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも

上野 氷賣  
唱祖  
杜音

氷餅

この月も食の道は白くも  
みよの道も白くも清くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも

葉陰  
篠袴

一夜酒

この月も食の道は白くも  
みよの道も白くも清くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも

用古 枝風  
長門 蕙里  
江戸 青夫

嘉祥

この月も食の道は白くも  
みよの道も白くも清くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも  
みよの道も清くも白くも

末 万花  
葎道

祇園會

摩訶經  
雜傳切

摩訶經の摩訶は摩訶訶の摩訶  
摩訶經の摩訶は摩訶訶の摩訶  
摩訶經の摩訶は摩訶訶の摩訶  
摩訶經の摩訶は摩訶訶の摩訶  
摩訶經の摩訶は摩訶訶の摩訶  
摩訶經の摩訶は摩訶訶の摩訶  
摩訶經の摩訶は摩訶訶の摩訶  
摩訶經の摩訶は摩訶訶の摩訶  
摩訶經の摩訶は摩訶訶の摩訶  
摩訶經の摩訶は摩訶訶の摩訶

京 牧草  
素外  
扇尺  
重厚  
貝朱  
糸 集糸  
和泉 井乙  
山 秋野  
故 故  
夏平

御積

夏積

夏越積

河社

草輪

御積の御積は御積の御積  
夏積の夏積は夏積の夏積  
夏越積の夏越積は夏越積の夏越積  
河社の河社は河社の河社  
草輪の草輪は草輪の草輪

杜静  
東吹  
成義  
浪雨  
旧國  
泰山  
草白  
吾令  
菊し  
老鳥

形代

雲垢離

半交生

土用

土用丁

草の痛み秋のけしき  
かへるあけくはまのけしき  
形代もまはるあけくはまのけしき  
形代もまはるあけくはまのけしき  
涼もあけくはまのけしき  
秋のけしき  
月ひくあけくはまのけしき  
秋のけしき

東之  
南洞  
路静  
魚光  
夜打  
雨鼓  
葉屋  
白苔

夏甲一

虫丁

虫の痛み秋のけしき  
かへるあけくはまのけしき  
形代もまはるあけくはまのけしき  
形代もまはるあけくはまのけしき  
涼もあけくはまのけしき  
秋のけしき  
月ひくあけくはまのけしき  
秋のけしき

浦夕  
鳥曉  
如泊  
吳三  
喃山  
飄之  
箕町  
材各  
皮蘭  
如毛

扇

むしりてはるる力たぬもあはる  
むしりてはるる母とてはるる  
出たりてはるる陣左殿  
ま拂ふは打目とありてはるる  
七や八記書すもはるる  
七や八記書すもはるる  
紋とてはるるあはるる  
袖とてはるるあはるる  
はるるあはるるあはるる  
はるるあはるるあはるる

鳳諸 未名  
燕翠 丹徒  
也柳 後名  
效枝 後中  
金生  
葉二  
黒沢

夏四二

扇

阿つてもあつてもあつても  
二つ三つ打撃あるあつても  
惟もつてはるるあつても  
かゝつてもあつてもあつても  
銀あつてもあつてもあつても  
あつてもあつてもあつても  
あつてもあつてもあつても  
あつてもあつてもあつても  
あつてもあつてもあつても  
あつてもあつてもあつても

麦光  
魚潜  
翠室 之石  
是龍  
猛埽  
俊祐  
几董  
此川 後名  
燕志 紀伊  
陣風

行拭 日傘 掛香 簞  
 夕なれどもちかしくも 長白  
 眼をうつるも 女良  
 坐忘  
 出管  
 一考  
 子晋  
 一呼

夏甲巻

籠枕 抱籠 此婦人 暑  
 さなれどもちかしくも 行充  
 眼をうつるも 李流  
 坐忘  
 出管  
 一考  
 子晋  
 一呼

有年一のれい...  
 風...  
 風...  
 夜...  
 暑...  
 日...  
 傍...  
 星...  
 河...

定相  
 志江  
 山嶽  
 越方  
 佛舟  
 潮屯  
 陰波  
 定雅  
 鶯口  
 浪意  
 仙石  
 青牛

其四田

雲峯

月...  
 山...  
 花...  
 又...  
 海...  
 日...  
 今日...  
 昔...

仙意  
 梅珠  
 仙意  
 扇風  
 杏水  
 只有  
 二杏  
 千峯  
 巴川  
 菊雪

白雨

その白く降りし雨は  
中より一筋の雨は  
くさくさの雨は  
ゆきゆきの雨は  
ゆきゆきの雨は  
ゆきゆきの雨は  
ゆきゆきの雨は  
ゆきゆきの雨は

菫文  
重厚  
白麻  
修徳  
成夏  
梨陰  
附鳳  
馬來  
李庭  
春南

正長四ノ五

雨乞

多き雨乞い  
中より雨乞い  
ゆきゆきの雨乞い  
ゆきゆきの雨乞い  
ゆきゆきの雨乞い  
ゆきゆきの雨乞い  
ゆきゆきの雨乞い  
ゆきゆきの雨乞い

菅杉  
東走  
習之  
核席  
那弓  
葛下  
流石  
後川  
睡華  
紫芝

凉

Handwritten cursive text in a column, likely a poem or a list of characters related to the title '凉'.

木越  
砂旭  
杜由  
寸来  
馬歌  
馬吹  
招清  
羽立  
魯川  
曾烟

耳四六

薰風

納凉

Handwritten cursive text in a column, likely a poem or a list of characters related to the titles '薰風' and '納凉'.

何遠  
披雲  
東李  
樂嘉  
吳德  
雨人  
龜息  
迎月  
可卜  
雪下



四條納涼

ついでに海濱の風をよむ  
あつたあつたのうらみ  
夕暮の風をよむ  
川原の風をよむ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ

絶句 周瓜  
蝶夢  
可能  
他意  
素心  
羽白  
芋月  
定雅

長四ノ七

加茂納涼

清水

あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ  
あつたあつたのうらみ

絶句 駒北  
朴二  
紫曉  
秋瓜  
李雨  
電文  
唐蝶  
百事  
二曲  
起友

打水

天宮のしほしほとくさくさ  
さくさくさくさくさくさくさく  
踏みゆくさくさくさくさくさく  
馬の身中元氣を向くさくさく  
性もさくさくさくさくさくさく  
少くさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
打水のしほしほとくさくさく

如月 鳳高 立竹 亀兄 其巖 是月 東鏡 宗漢 彩石 一瓢

夏四ノ八

心太

隠さくさくさくさくさくさく  
本宮のしほしほとくさくさく  
松もさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさく

腫美 吳川 蝦交 春如 八桂 几葦 送立 行亮 錦水 柳次

葛水

水賣

|                                  |                                |                                |                                |                                |                                 |                                 |                                 |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 水飯                               | 引飯                             | 切麥                             | 冷汁                             | 煮冷                             | 麻地酒                             | 夏切茶                             | 香葉散                             |
| 水飯 <small>三河</small> 煎小氣味なる者の事なり | 引飯 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり | 切麥 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり | 冷汁 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり | 煮冷 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり | 麻地酒 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり | 夏切茶 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり | 香葉散 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり |
| 菓陸                               | 得々                             | 由木                             | 冬查                             | 東阿                             | 孝安                              | 為工                              | 滄浪                              |

夏四九

|                                |                                |                                |                               |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 夏瘦                             | 熟痺                             | 曝井                             | 蓮                             |
| 夏瘦 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり | 熟痺 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり | 曝井 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり | 蓮 <small>三河</small> 煎小氣味なる者なり |
| 雪居                             | 丈波                             | 几董                             | 作雲                            |
| 南瓜                             | 倭泉                             | 未龍                             | 警橋                            |
| 桂蘭                             | 香鷲                             |                                |                               |

竹の葉を一物とてくさす  
 合をたしむるはたの葉の花  
 草のこしむるはたの葉の花  
 花をたしむるはたの葉の花  
 おもむくはたの葉の花  
 かたむくはたの葉の花  
 道にゆくはたの葉の花  
 ひらぬはたの葉の花  
 花の幅をたしむるはたの花  
 花のこしむるはたの花  
 花のたしむるはたの花

麥士  
 李調  
 五友  
 其朝  
 志江  
 孤查  
 藤亭  
 二龍  
 仙翁  
 苦後

廿五

海查  
 蘭州  
 蒲種  
 鏡線  
 凌霄  
 眼皮  
 嬰麥

此の葉をくさすはたの葉の花  
 みかぬはたの葉の花  
 蘭州の葉をくさすはたの花  
 蒲種の葉をくさすはたの花  
 鏡線の葉をくさすはたの花  
 凌霄の葉をくさすはたの花  
 眼皮の葉をくさすはたの花  
 嬰麥の葉をくさすはたの花

南古  
 嵩有  
 未風  
 掃序  
 正意  
 紀修  
 枝条  
 渡口

石竹片

世に竹片の音は横あまの音に  
そらもあまの音にそらもあまの音に

女 藤 喜 以

約 清 押

約の音は清の音に清の音に  
ふらふらあまの音にふらふらあまの音に

一 徹

風 蘭

蘭の音は風の音に蘭の音に  
あまの音にあまの音に

崔 史

玉 簪

玉簪の音は玉の音に玉簪の音に  
あまの音にあまの音に

豐 弓

鷺 草

鷺草の音は鷺の音に鷺草の音に  
あまの音にあまの音に

有 音

射 下

射下の音は射の音に射下の音に  
あまの音にあまの音に

一 羽

其 五 九 一

青 鬼 燈

青鬼燈の音は青の音に青鬼燈の音に  
あまの音にあまの音に

且 來

林 檜

林檎の音は林の音に林檎の音に  
あまの音にあまの音に

徒 遊

麻

麻の音は麻の音に麻の音に  
あまの音にあまの音に

楚 水

夏 糸

夏糸の音は夏の音に夏糸の音に  
あまの音にあまの音に

有 韻

綿 花

棉花の音は綿の音に棉花の音に  
あまの音にあまの音に

南 人

些 種

些種の音は些の音に些種の音に  
あまの音にあまの音に

鼓 勢

小 角 豆

小角豆の音は小の音に小角豆の音に  
あまの音にあまの音に

卦 十

胡麻  
生薬丸

坊らるるの類いぬるる雨雲  
心も葉も果も向ふも平の烟  
瓜も也本丹陰ひるあつ  
冷し瓜より落るる井の研  
秋もつらつらも紅葉丸表  
あつらひつらつらつらつら  
つらつらつらつらつらつら  
秋もつらつらつらつらつら  
あつらひつらつらつらつら  
坊らるるの類いぬるる雨雲

山麻 如雷 喜吃 桂合 青山 純青 蝶碎 桐字 得々 垢雨

其五二

夕顔

午何んやあつらひつらつら  
申も葉も果も向ふも平の烟  
瓜も也本丹陰ひるあつ  
冷し瓜より落るる井の研  
秋もつらつらも紅葉丸表  
あつらひつらつらつらつら  
つらつらつらつらつらつら  
秋もつらつらつらつらつら  
あつらひつらつらつらつら  
坊らるるの類いぬるる雨雲

鳥活 有魚 寔費 寔沙 桃五 巴明 雨橋 友字 嗽石 米珠

百日

雲雀鷹

練雲雀

鷹仰化虫

蟬

鳥のついでに  
陽の光を浴びて  
鳴神の音を  
樹の影を  
羽の音を

鳥のついでに  
陽の光を浴びて  
鳴神の音を  
樹の影を  
羽の音を

伊勢

素行

鳴水

九

文野

末

一風

佳極

上

飛川

伊勢

芦花

伊勢

楚舟

夏舟巻

空蟬

夕暮の蟬  
鳴る声  
空を渡る  
羽の音  
樹の影を  
浴びて  
陽の光を  
浴びて  
鳴神の音を

寛例

普成

著我

柳英

探夢

志備

如函

妻舞

道肥

始百





沖繪

川狩

秋近

秋待

船より女の刺りし沖に  
 津波の隣に舟を破るらん  
 川に舟を流すは舟も  
 酒をいりて大宴ありて  
 夕の光やさしぬれぬ  
 夕暮れ灯籠の光秋を  
 秋を待たぬは舟の  
 舟乃木末の光を

朱桂  
 女  
 寸に  
 風馬  
 上負  
 五浮  
 彌身  
 呂風  
 水序

夏五終

